

第1学年 学級活動指導案

指導者 第1学年担当

浅野
田島
遠藤

英司
法之
弘子

給前
横田
川路

竜二
廣子
智治

研究主題	3年生を送る会で学年創作劇を成功させよう
------	----------------------

1 題材名 3年生を送る会で学年創作劇を成功させよう

2 目標

- (1) 3年生を送る会での第1学年創作劇を通して、卒業生に対してのメッセージや感謝の気持ちを表現する。
- (2) 創作劇の制作を通して、自分の適性に合った役割（役者、撮影・照明、大道具、小道具・衣装、効果音など）を考え、決定することにより、自己決定の能力を高める。
- (3) 自分の適正に合った劇での役割（役者、撮影・照明、大道具、小道具・衣装、効果音など）に取り組むことで、自己存在感を味わわせる。
- (4) 学年創作劇を同じ役割を持った仲間と協力して完成させていく中で、共感的人間関係を育成する。

3 育てたい自己指導能力

- (1) 自己存在感
 - 自分の良さや個性が分かる。
 - 自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。
- (2) 共感的な人間関係
 - 他者の良さや感情がわかる。
 - リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら活動する。
- (3) 自己決定
 - 自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい選択をしようとする。
 - 課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。

4 自己指導能力に関する実態

- (1) 自己存在感

本校の第1学年生徒は学級での係活動や学校の委員会活動に全員が所属し、自分の適正や個性にあった役割を選択し、活動を行うことで自己存在感を味わわせるように配慮しているが、学年創作劇の中での係や役者の仕事に責任を持って取り組ませることにより、さらに自己存在感の意識を高めることができると考える。
- (2) 共感的な人間関係

本校の第1学年では4月の宿泊学習の中で、グループエンカウンターや班での野外活動を取り入れ、共に活動させることで、他者への理解を深め、共感的な人間関係を築けるようにしている。学年創作劇の取組の中で、他者と協力しながら活動を行っていくことで、これまで以上の共感的な人間関係を築いていけると考える。
- (3) 自己決定

学級での係、委員会など自分の適正や個性を考え、決定していく中で自己決定の力は養われていくと考える。学年創作劇の中で、自分に合った役割を選択して活動を行う場を与えることで自己決定の力を高めることができると考える。

5 自己指導能力を育てる手だて

- (1) 自己存在感

学年創作劇の中で、自分の適正に合った劇での役割（役者、撮影・照明、大道具、小道具・衣装、効果音など）に責任を持って取り組ませることで、自分が学年創作劇に貢献できたという自己存在感を持たせるようにする。
- (2) 共感的な人間関係

学年創作劇の中で、自分と同じ役割を持った他の生徒と協力しながら活動を行っていく中で、他者との人間関係を深め、共感的な人間関係を築いていけるようにする。
- (3) 自己決定

学年創作劇の中で、自分の適性に合った役割（役者、撮影・照明、大道具、小道具・衣装、効果音など）を考え、決定することにより、自己決定の場を与え、自己決定の力を高められるようにする。

6 活動計画

月 日	曜	実行委員会・創作劇関係	合唱・呼びかけ	活動時間
1 / 25	木	・実行委員会① メンバー確認と内容説明		昼休み
1 / 25	木	①送る会の活動についての方 (組織及び活動内容, 目的に ②事前アンケート (意識調査	説明 いて) 役割希望調査)	総合的な学習の 時間 (5 校時)
1 / 26	金	・実行委員会② 役割希望調査の集計 今後の活動計画の検討	・指揮者, 伴奏者 の検討	昼休み
1 / 29 ~ 31	月 水	・実行委員会③~⑤ シナリオの検討 役者, 係の決定 (オーディション)	・楽譜印刷, 配布 ・指揮者, 伴奏者 決定	昼休み 学級活動 (6 校 時)
2 / 1	木	・実行委員会⑥ 台本完成 (5 校時印刷)	・合唱の練習開始 (火・木)	昼休み 総合的な学習の 時間 (5 校時)
2 / 2	金	・実行委員会⑦ 台本配布 ・役者台本読み合わせ① ・係打ち合わせ① (準備物の選定)		昼休み
2 / 5	月	・劇の練習開始 (月・水・金)	・呼びかけ検討①	昼休み
6	火		・呼びかけ検討② ・合唱練習	昼休み
2 / 7	水	・劇の練習 ・役者台本読み合わせ② ・係打ち合わせ② (準備物製作開始)		昼休み 学級活動 (6 校 時)
2 / 9	金	・実行委員会⑧	・呼びかけ完成	昼休み
2 / 15	木	・役者 (劇の練習及びビデオ撮影) ・係打ち合わせ③及び準備物製作		総合的な学習の 時間 (5,6 校時)
2 / 22	木	・劇, 合唱, 呼びかけ, リハーサル①		総合的な学習の 時間 (5,6 校時)
3 / 1	木	・劇, 合唱, 呼びかけ, リハーサル②		総合的な学習の 時間 (5,6 校時)
3 / 8	木	・3 年生を送る会 (本番) 劇, 合唱, 呼びかけ		13:30 ~ 体育館
9	金	・事後アンケート及び送る会での活動を振り返っ ての感想記入		授業 (国語)

7 評価計画

育てたい自己指導能力	評 価 の 方 法 ・ 手 だ て
(1) 自己存在感	① 事前アンケートと事後アンケートの結果から, 自己存在感の高まりが見られたかを調べる。 ② 事後の感想を書かせ, 自己存在感の高まりを感じられる表現が見られたかを調べる。
(2) 共感的な人間関係	① 事前アンケートと事後アンケートの結果から, 共感的な人間関係の高まりが見られたかを調べる。 ② 事後の感想を書かせ, 共感的な人間関係の高まりを感じられる表現が見られたかを調べる。
(3) 自己決定	① 事前アンケートと事後アンケートの結果から, 自己決定の力が高まったかを調べる。 ② 事後の感想を書かせ, 自己決定の力の高まりを感じられる表現が見られたかを調べる。

8 本時の指導

(1) 目標

- 学年創作劇のリハーサルを行うことで自分の仕事や役割をしっかりと理解できる。
- 役者や係の連携を深め、創作劇の完成度を高めることができる。

(2) 資料・準備 「DREAMS COME TRUE」の台本、D Vビデオ、プロジェクター

(3) 展開

	学 習 活 動 ・ 内 容	資料準備	支援・留意点と評価の観点
活 動 の 開 始	1 本日のリハーサルについての確認を行う。 - 活動場所 役者…ステージ 係…各係の活動場所 - 活動内容 役者…台本に沿って演技 係…台本に沿って活動 リハーサルを行い、劇の流れや役割を確認しよう。		2時間の活動時間の流れを説明し、本時の活動についての理解をさせる。 - 役者の生徒には本番と同じような緊張感の中で演技を行わせるようにし、演技の質を高められるようにさせる。 - 係の生徒はそれぞれの係の活動を行うようにさせ、劇の流れに沿った係の活動を確認させるようにする。大道具の生徒は背景画の制作を進めさせるように指示をする。
活 動 の 展 開	2 劇の流れに沿って役者は演技をし、係の生徒は係の活動を行うようにする。 役者…大きな声での演技 身振り手振りの表現 係…劇の流れの確認 劇中の自分の仕事の確認 ・撮影・照明・ビデオの操作 ステージ照明の操作 ・効果音…BGMの操作 ・小道具…小道具の準備管理	台本 D V ビデオ プロジェ クター	- 役者の生徒にはセリフを言う時にはなるべく台本を見ないようにさせ、本番の緊張感と同様の緊張感の中でセリフを言わせるようにする。 - セリフの言い方だけでなく、身振りや手振りも一緒に表現できるように指示をする。 - 係の生徒は劇の流れに沿ってどんな仕事があるのかを確認させるとともに自分の役割を責任を持って行うようにさせる。大道具の生徒は背景画の制作をどんどん進めさせる。 ③ 自分の役割を責任を持って行うことで、自己存在感を高められたか。
活 動 の ま と め	3 リハーサルを振り返り、良かった点や改善点を出し合う。 役者…自分たちの演技について 係…劇の展開に沿った係の仕事について		- 役者と係でそれぞれ集まって本日の反省をすることで、改善点を見つけ、自分たちの活動をさらに高めていこうとする意識付けをさせる。 - 良かった点を発表することで、友達を認め、共感的人間関係を築けるように配慮する。 ④ 係や役者の良かった点に気づくことで共感的な人間関係を築けたか。 ⑤ リハーサルを通して劇の流れをつかみ、改善点を見つけることができたか。 ＜話し合い・発表＞